

# 鉄筋コンクリート造連層壁試験体加力計測治具設置・撤去および試験体廃棄等業務 仕様書

## 1. 適用

本仕様書は、国立研究開発法人建築研究所が発注する「鉄筋コンクリート造連層壁試験体加力計測治具設置・撤去および試験体廃棄等業務」に適用する。

## 2. 目的

本業務は、建築研究所が実施している PRISM 研究課題「迅速な被災建築物判定手法及びデータプラットフォームの構築に関する研究」の一環として行う、点群を用いた損傷評価のための鉄筋コンクリート造連層壁試験体（約 70ton）について、加力実験を行うための加力治具等のセットアップ、計測治具の加工・設置、実験後の加力治具・計測治具等の撤去、および、試験体の解体・廃棄を行うものである。

## 3. 一般事項

### 1) 発注者又は受注者の負担範囲

- ・業務の実施に必要な施設の電気及び水道等の使用に係る費用は、発注者の負担とする。
- ・解体に必要な機材、仮設材、養生材及び重機等は、受注者負担とする。ただし、実大構造物実験棟に備え付けのフォークリフト、強度試験棟に備え付けの天井クレーンは利用することができる。

### 2) 関係法令等の遵守

- ・業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令を順守すること。

### 3) 業務責任者

- ・受注者は業務責任者を定め担当者に届け出ること。
- ・業務責任者は、品質、工程、安全等の業務管理を行い、業務の円滑な遂行を図ること。

### 4) 業務日の条件

- ・業務を行う日時はあらかじめ担当者で協議すること。作業日が休日に掛かる場合、休日作業届けを担当者へ提出すること。

### 5) 服装等

- ・業務関係者は、作業に適した服装で業務を行うと共に、名刺または腕章を付け、作業を行うこと。

### 6) 担当者の立ち会い

- ・作業等に際して担当者の立ち会いを求める場合はあらかじめ申し出ること。

### 7) 共用施設の利用

- ・駐車場、建物内の便所、エレベーター等の一般共有施設は利用することができる。

### 8) 持込資機材の残置

- ・業務が複数日に渡る場合、担当者の承諾を得た場合には、実施期間中は構内に残置することができる。なお、残置資機材の管理は受注者の責任において行うこと。

### 9) 養生

- ・作業現場の搬出入場所等は、汚染または損傷しないよう適切な養生を行うこと。
- ・万一、汚染及び損傷した場合には、受注者の負担により、原状回復を図ること。

#### 10) 後片付け

- ・業務の完了に際しては、当該作業部分の清掃を行うこと。

### 4. 業務内容

業務の内容は以下の通りである。

#### (1) 加力治具等の製作・設置

別紙1⑥に示す、加力用耐圧版2個を製作、納品する。

別紙1②～④に示す通りに2000kNジャッキ2基、1000kNジャッキ2基、ポンプ、耐圧版等の加力治具を設置し、別途発注者が支給するP C鋼棒で緊結する。

#### (2) 計測治具等の加工・設置

別紙1⑤に示す通りに、計測用鉄骨柱4本を試験体横に設置し、反力床にP C鋼棒で緊結する。

60mm角の鋼管を所定の長さに切断し、別途発注者が支給する角クランプ・キャッチクランプを用いて、別紙1⑤に示すように組み立て固定する。

組み立てた治具の先端部に、別途発注者が支給する変位計を固定し、データ転送ケーブルを配線する。

#### (3) 試験体の固定

別紙1①に示す試験体の下スタブについて、別途発注者が支給するP C鋼棒を設置・緊結し、反力床に固定する。緊張力は1本あたり300kNとする。緊張用のセンターホールジャッキについては、発注者が支給する。

#### (4) 加力治具、計測治具等の撤去

担当者による加力実験の実施後、P C鋼材の緊張力の開放および撤去、設置した加力治具・計測治具の撤去を行い、治具等を所定のヤードに整理する。

#### (5) 試験体の解体および廃棄

別紙1①に示す試験体を関係法令に従い、切断・解体、収集運搬、処分、周辺の清掃を行うこと。

### 5. 協議

業務遂行上疑義が生じた場合は、速やかに担当者と協議すること。

### 6. 検査

業務完了後は、本仕様書に基づく検査担当者の検査に合格しなければならない。

7. 提出書類

- ・業務実施中の写真一式を提出すること
- ・業務完了後、履行期間までにマニフェスト D 票または D 票の写しを提出すること

8. 履行期間

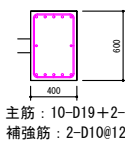
契約締結の翌日から令和 4 年 2 月 25 日

以上

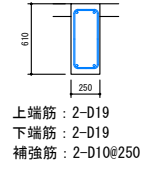
担当者 構造研究グループ 中村聡宏

# ①試験体概要図

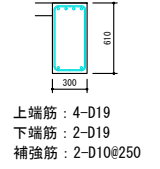
側柱



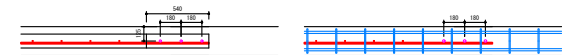
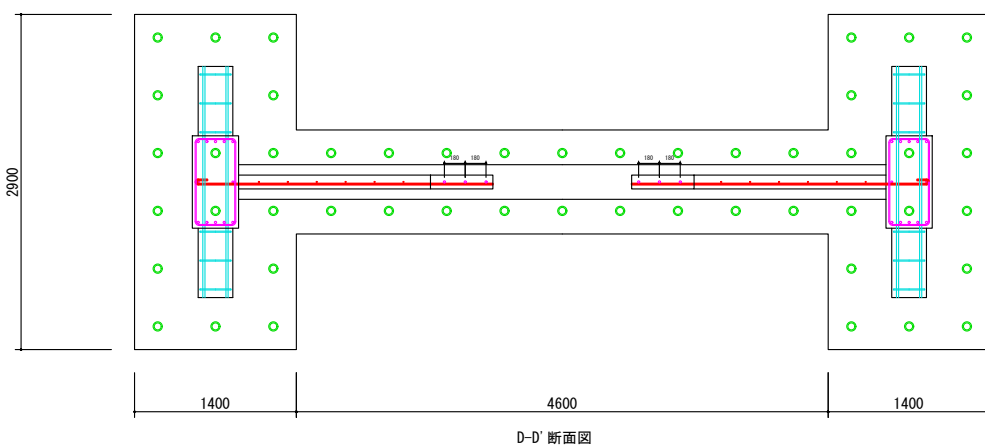
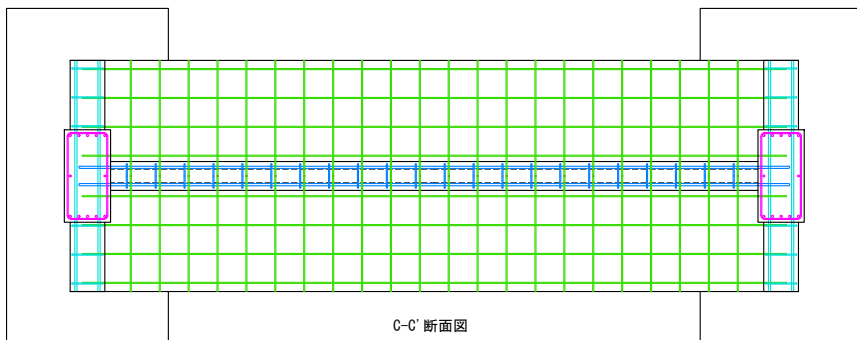
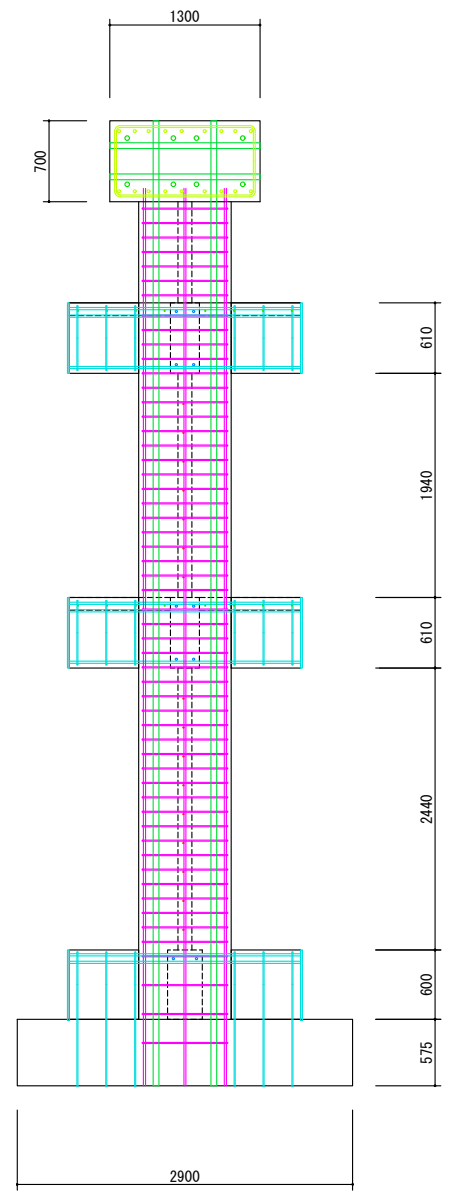
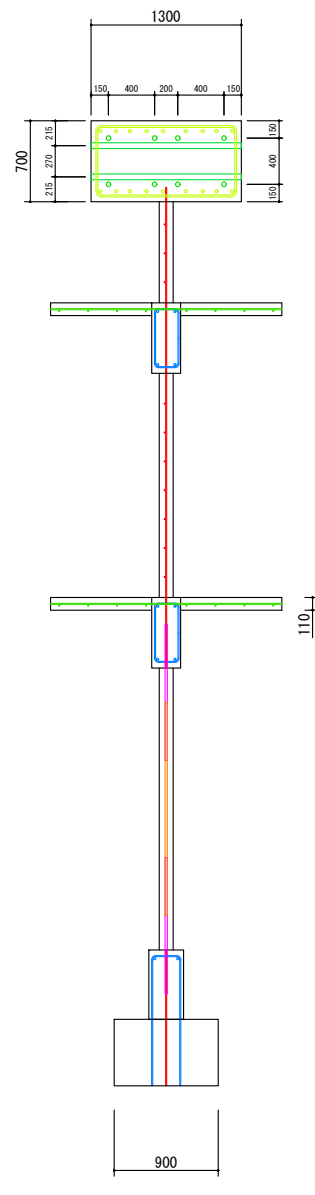
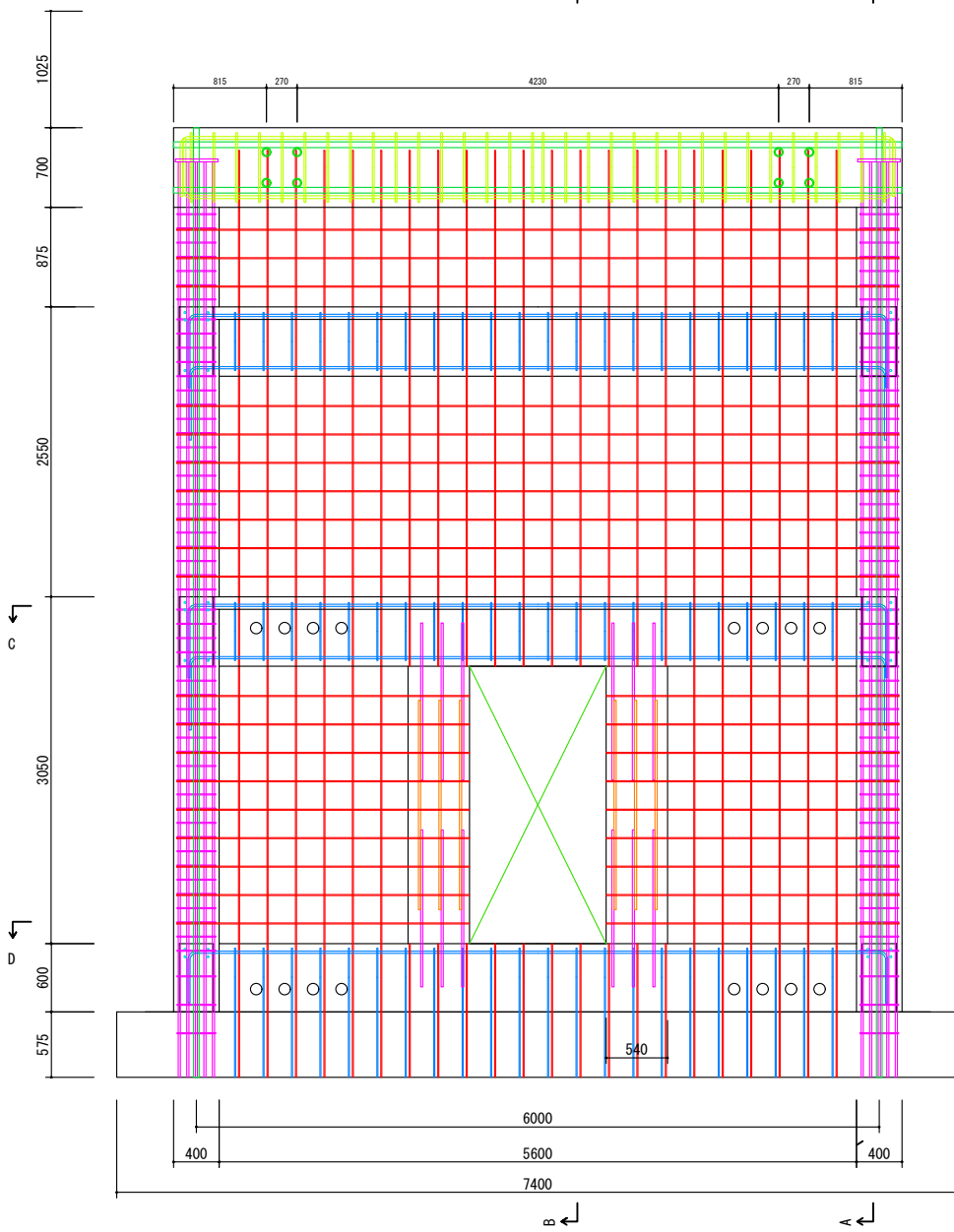
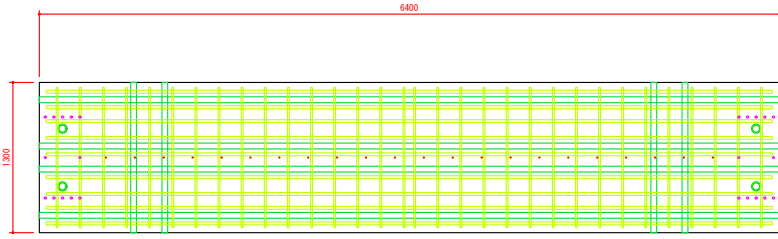
面内梁



直交梁

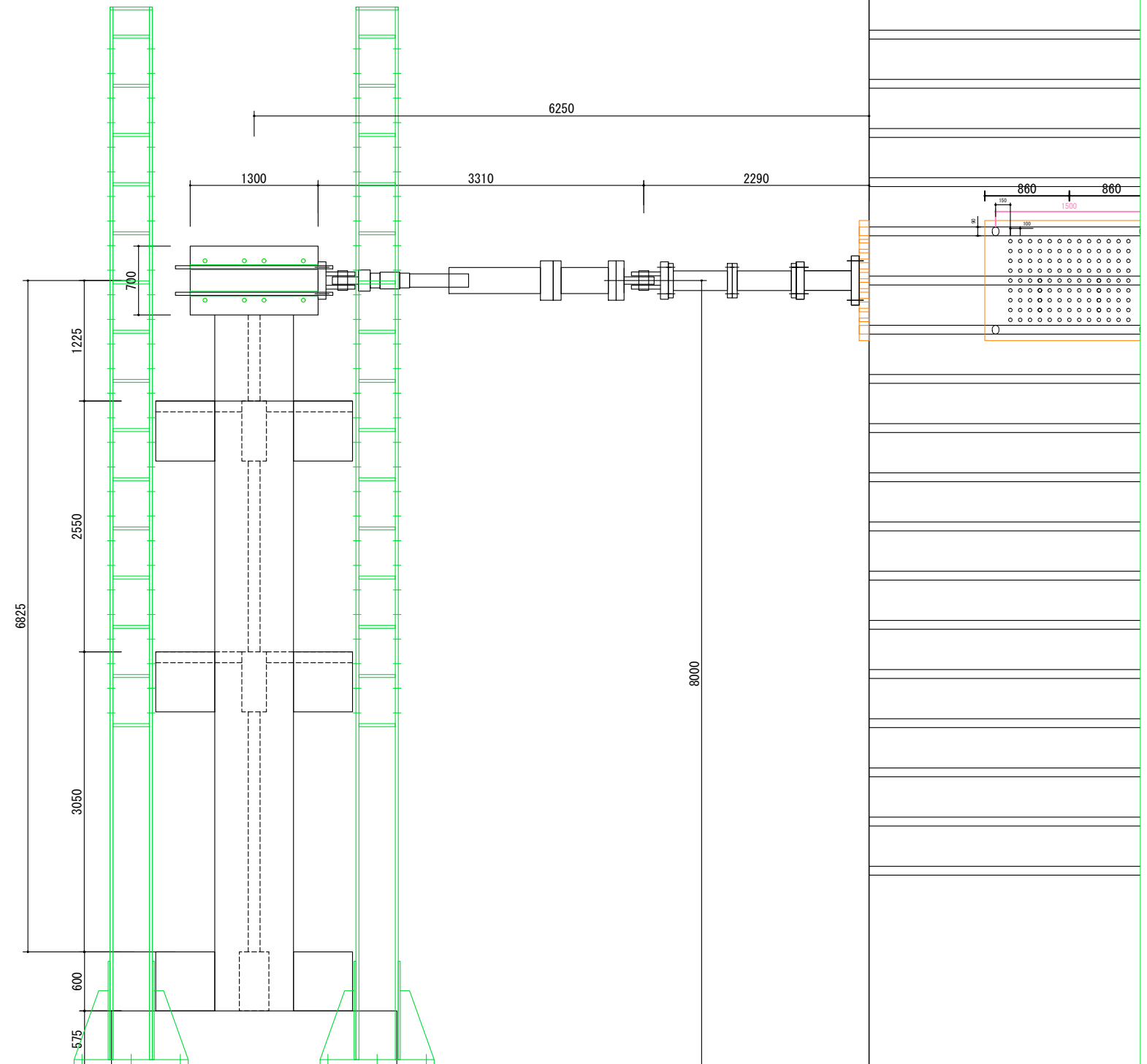
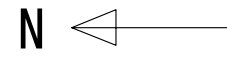


使用コンクリート  
FC18-18-20N

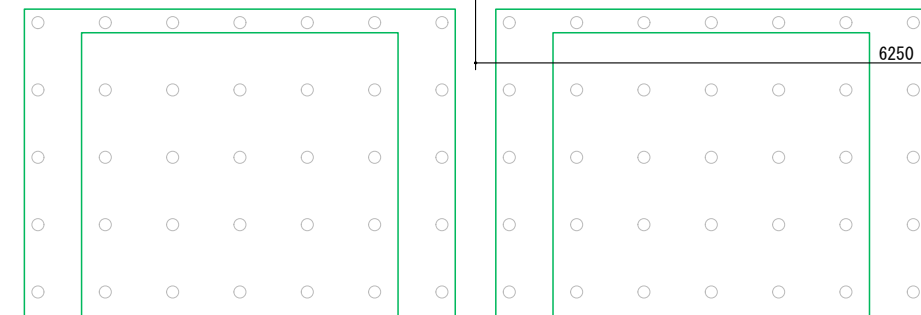
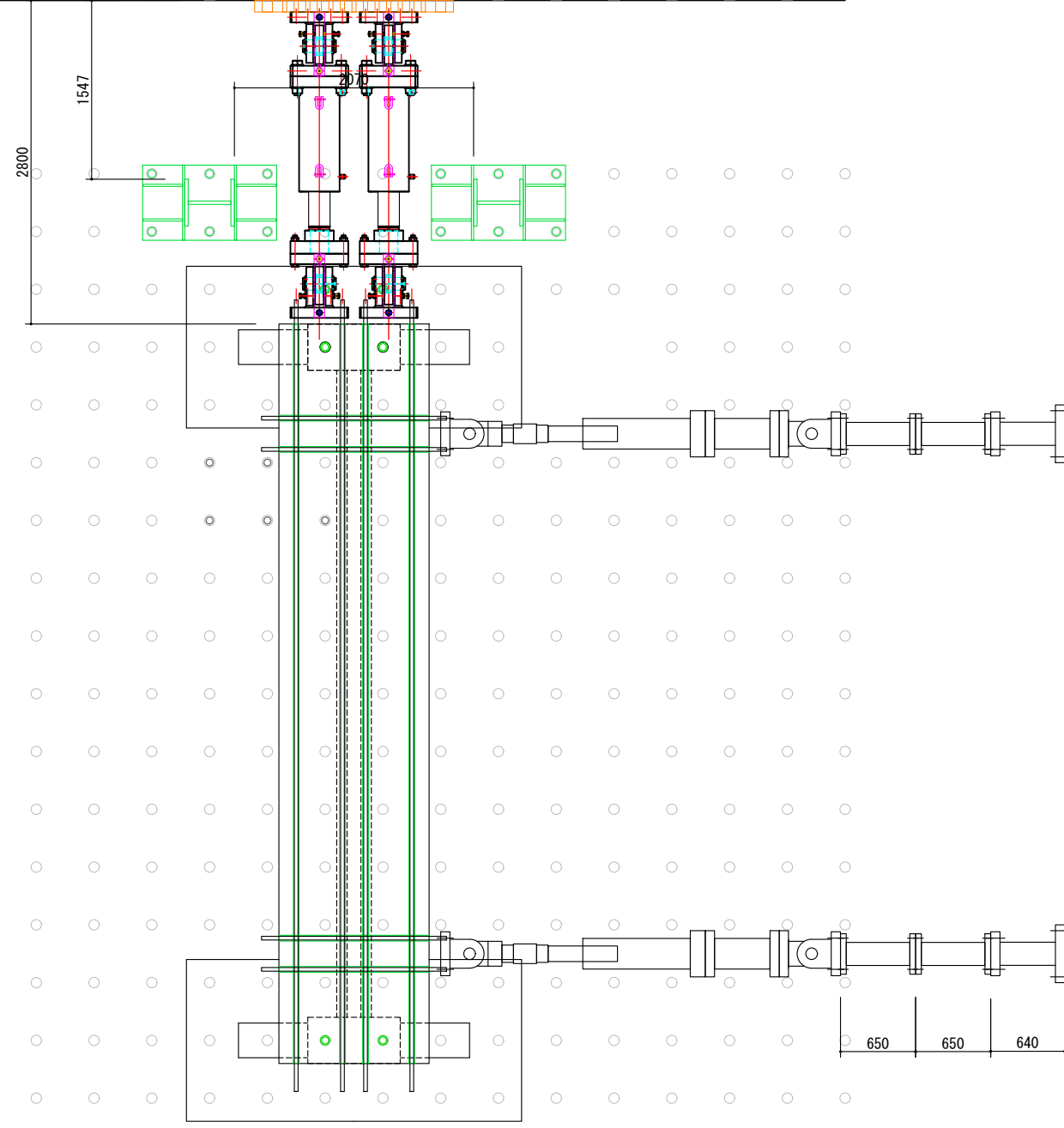
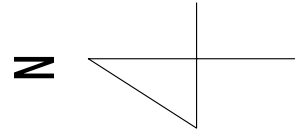


図面名	見積もり図面	縮尺	S=1:10	最終更新日	R2. 12. 08
実験名	RC壁実験	作成者	建築研究所 構造研究G 中村聡宏		

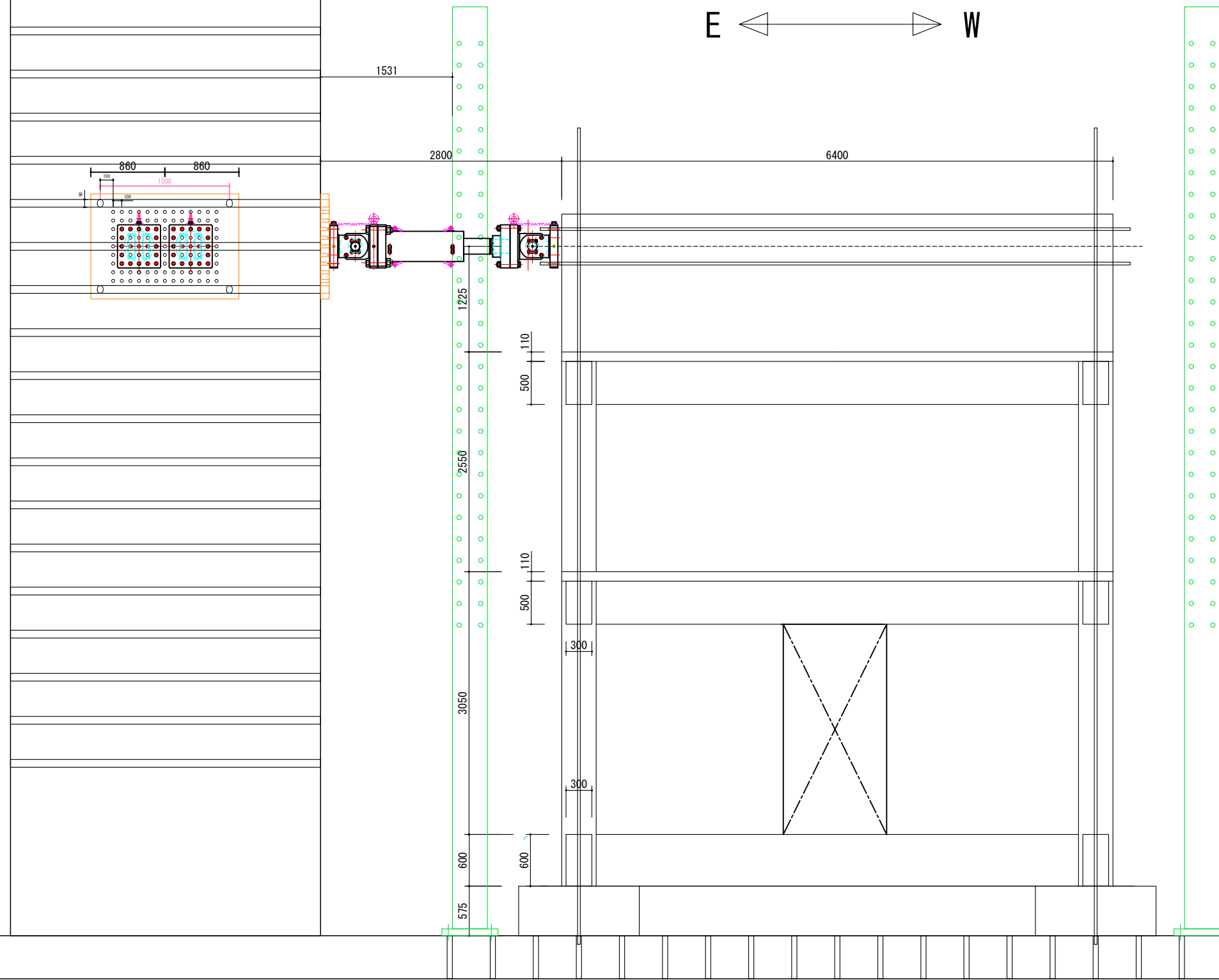
②セットアップ図 (西立面)



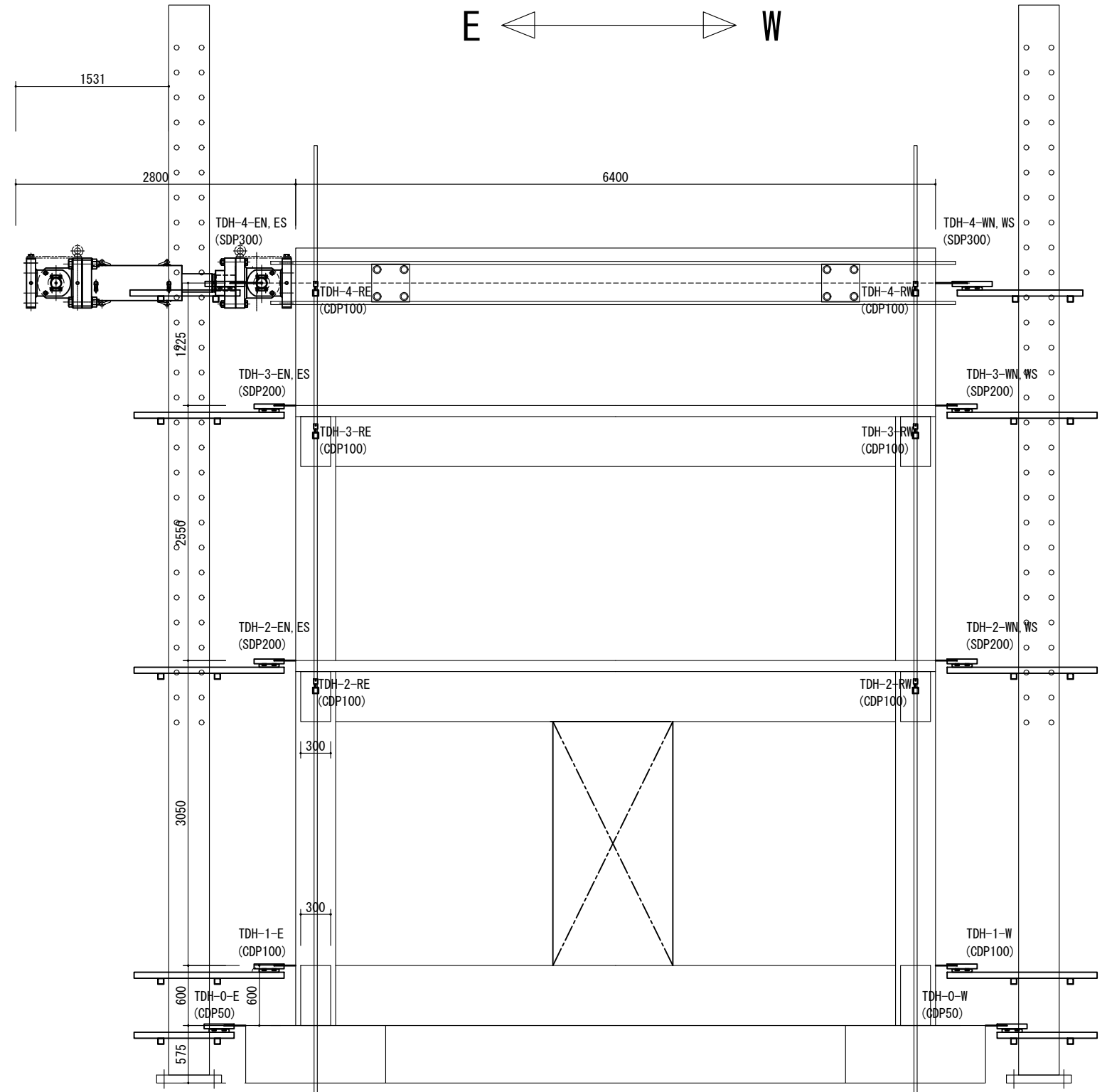
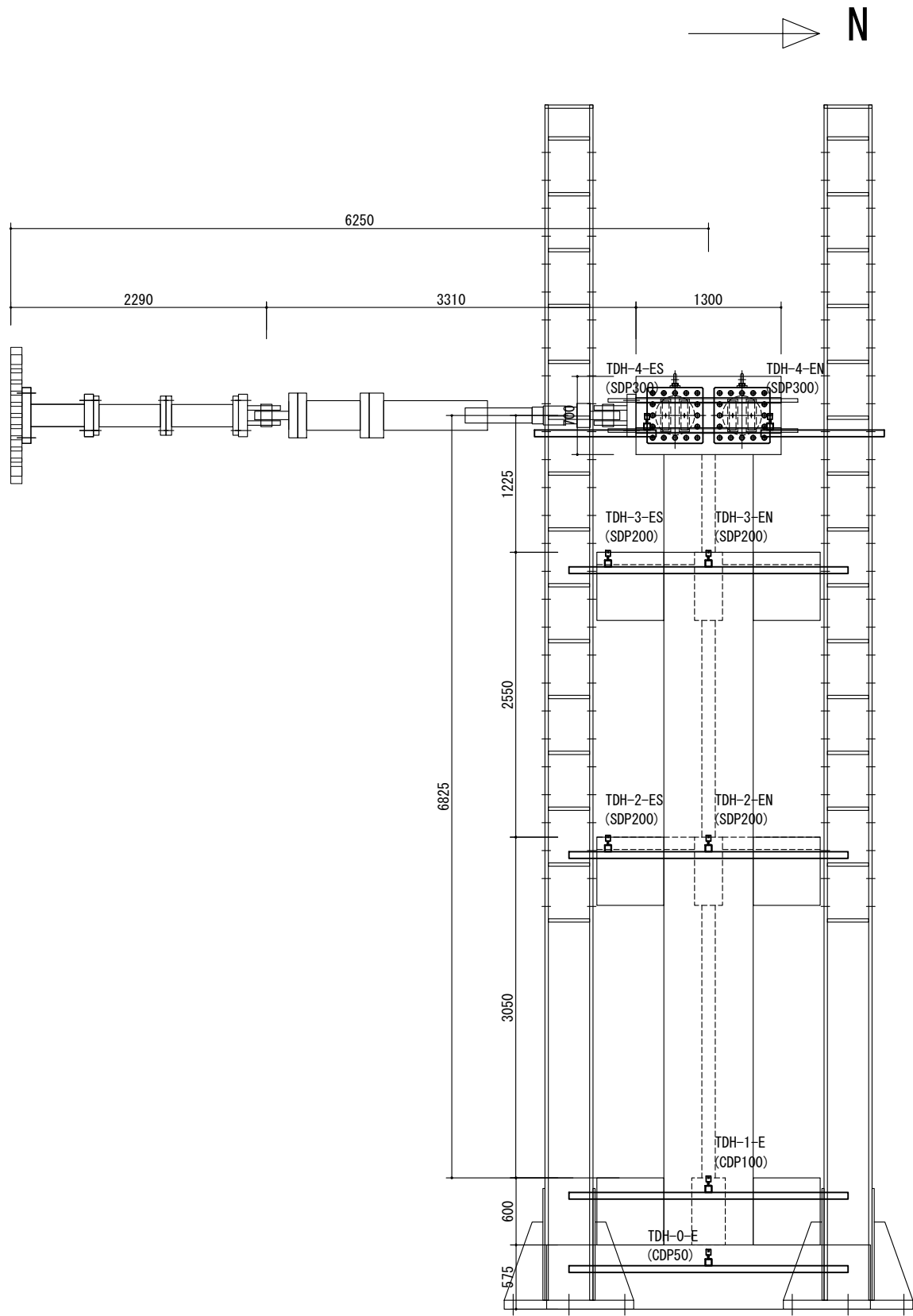
③セットアップ図 (平面)



④セットアップ図 (北立面)



⑤変位計測治具設置位置図





⑥ 耐圧版

